

井利ノ口地区第一種市街地再開発事業（徳島県小松島市）

■事業の概要

本事業は、小松島市の中心市街地において、施設の老朽化により建替えの必要に迫られていた徳島赤十字病院を、東洋紡績小松島工場跡地に移転・新築した事業です。小松島市は衰退した中心市街地を、「医療と福祉を核とするまちづくり」として再生するべく「中心市街地活性化基本計画」を策定し、本事業はその中心的な事業として位置付けられています。

事業手法は、都市計画道路の拡幅整備とあわせて行うことから、市街地再開発事業と区画整理事業（沿道整備街路事業）の一体的施行としました。

■計画内容

- 事業名称：井利ノ口地区第一種市街地再開発事業
- 施 行 者：井利ノ口地区第一種市街地再開発事業個人施行者
（東洋紡績(株)と日本赤十字社(徳島赤十字病院)の2者で組織）
- 所 在 地：徳島県小松島市小松島町字井利ノ口および字房浜の一部
- 地区面積：約4.1ha
- 整備内容：（公 共 施 設）地区内幹線道路(幅員14m)、区画街路(幅員9m)
（施設建築物）・病院棟：徳島赤十字病院(約29,820㎡、9階建て)
・複合施設：商業・外来診療施設・防災エネルギーセンター
（約8,460㎡、4階建て）
・平面駐車場(約400台)
- 総事業費：約140億円
- 事業期間：平成14年～平成18年

■当社の役割

- 事業推進コーディネート業務
- 事業計画・資金計画・権利変換計画作成業務
- 個人施行者の事務局業務（権利者合意形成、補助金対応業務等含む）



全 景



病院棟(徳島赤十字病院)